

【取組内容⑤】 Microsoft Swayを活用したホームページでのICT実践事例の発信

1 Microsoft Swayの利点

- ★「テキスト」「画像」「スタイル」など、文書入力や画像の挿入、レイアウトの設定のような使用頻度の高い機能が中心に組み込まれていて、作りたい資料やデータを簡単に作成することができる。
- ★一つ一つの機能が限られた操作のみに絞られていて、迷うことなく選択することができる。

2 実践例



「画像」⇒「テキスト」
⇒…の順に作成していくと
すぐに資料が出来上がる。

レイアウトは限られた選択肢の中から、掲載したい画像や文字数に合ったものを簡単に選ぶことができる。



3 本市教職員の反応（一部）

- ★表現が豊かでありながらシンプルなページ構成で見やすいと感じる。
- ★短時間でこのようなコンテンツ作成が可能であれば今後使いたい。

**Microsoft Swayで
ホームページを更新する流れ**

①情報収集
日頃の授業や学力部会、職員会議等でICTを活用したデータを収集。ソフトウェア活用の手順や留意事項を記録。

②Sway作成
上記①で集めたICTを活用している場面の写真やその教科やめあて、具体的な内容などを記述。

③リンクをホームページへ
作成したSwayを共有し、リンクを学校ホームページに貼り付け、情報を発信。

【1】1学期、2年生に校内の教室を紹介してもらった「がっこうたんけん」！

今度... 授業... 使っ